

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第74回 2024年7月)



40年来の親交がある友人と、久しぶりに出会った。待ち合わせ場所に現れた友人を一目見て、失礼ながら「うわあ、老けたな」と思った。

ところが先方も、開口一番「〇〇さん（食いしん防の名前）髪が白くなったねえ」と言ってきた。何のことはない、老けたのはお互いさまだった。まあ2人ともそれなりの年齢になったということだ。



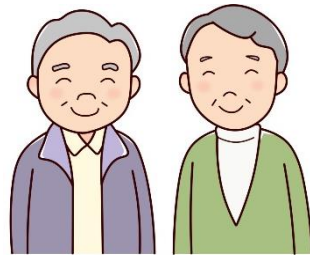
ちょっと前に行きつけの床屋で散髪してもらっていると、「おにいちゃん（気をつかってそう呼んでくれる）ここんところ（頭の横を指差しながら）ハゲてたやろ」と言われた。確かに1年ほど前、その部分がかなりデカイ円型脱毛になっていた。（このコーナーにも書きました……）

幸いにもまた生えてきたのだが、真っ白な髪だった。つまりその部分だけ円型の白髪になっている。（他の部分は黒と白が混じってる感じ）

見抜いた床屋さんはさすがと言いたいところだが、1年前に円型脱毛が発覚したのは、この同じ場所だった。その時に、遠慮会釈ない口調で「おにいちゃん、ここんところハゲてんでえ」と言ってきたのも、まさにこの人。そのことを忘れてたのか!?

話を友人との邂逅に戻すと、互いに相手が老けたことに驚愕した2人だったが、おしゃべりに講じているうちに、頭の中身は出会ったところとほとんど変わっていないことが確認でき、安堵したのであった。いや、それはそれで問題か!?

次に会うのは何年後になるのか。その時は相手の老人ぶりに驚くことになるのか。それ以前に、あの床屋に次に行ったら何を言われるのか。年齢を重ねるということは、かくも興味深い。



TOPICS

☆こと防全体会議&研修

令和6年度の湖東地区防災ネットワーク（こと防）が、6月21日の全体会議をもって本格スタート。この日は28名の防災推進員が湖東コミセンに集まった。

まずは事務局から、こと防と防災推進員の目的と活動内容について説明があった。

（以下概略）《地震や風水害などの災害に対する備えの必要性が、高まっている。自治会単位で行う防災には限界があるので、近隣自治会同士で協力し合うことを目的

として、『こと防』が平成30年に設立された。活動内容は、情報交換・先進自治会の見学・研修など。将来的には合同訓練や防災用品の共同購入なども考えられる。「湖東地区での災害死者ゼロ」を目標に、令和4年から『個別避難計画の作成』に取り組んでいる。

防災推進員は各自治会から1名ずつ選出してもらっている。役割は自治会とこと防の連絡役。防災における自治会での困りごとなどがあれば、相談や提案をしてほしい。《近隣自治会や関連団体が力と知恵を合わせることで、地域の防災力を高めていく》

続いて、『能登半島地震の教訓から学ぶ個別避難計画の必要性～制度概要と取組について』と題した30分ほどの研修を受けてもらった。講師はおなじみ中村準一さん（市健康福祉政策課／日赤防災教育事業主任指導者）。

最初に、能登半島に支援で現地入りした中村さんの現状報告があった。「現地は木造の古い家屋が多く、震度7の揺れで倒壊している。湖東地区でも、同じような古い家屋が多いため、大きな揺れに見舞われると、同じような被害を受ける可能性が高いです」

そして、個別避難計画についての説明。「大規模災害が起こったとき犠牲になるのは、自力での避難ができない方が多い。地域全体で、そういう方たちを助ける仕組み作りをする必要がある。そのための個別避難計画作成です。それを作るお手伝いを我々がするので、気軽に相談してほしい」

質疑応答では、「能登の現地において、“事前にこんな備えをしておけばよかった”とされていることはありますか？」という質問に対して、次のような答えがあった。

「“どの家に誰が住んでいて無事かどうか”を把握できる仕組みがなかったため、倒壊家屋を掘り起こして確認する事例がいくつもあった。また、避難所に顔見知りがおらず居づらくなって、そこを出て近所同士で集まった（ビニールハウスなどを避難所代わりにした）ケースもあった。劣悪な環境で体調を崩したり、関連死に至る例もあった。そういう仕組み作りが事前にされていればよかった」

それから、ブロックごとの話し合いで、ブロック代表と今年度の活動方針、意見交換などが行われた。（それらの内容については次号で紹介）

全体代表には、7期連続で村田道広さん（北菩提寺町）が選出された。



☆防災減災のつどい

6月28日、愛東コミセンにて令和6年度の『防災減災のつどい』が開かれ、食いしん防も参加してきた。

第1部として、愛東外町自治会による『避難訓練の取り組み』事例発表があった。この町は傾斜地の近くにあり、豪雨時には土砂崩れの危険もある。今回の発表では地震を想定した避難訓練についてだったが、全員が無事に避難したことを示す黄色いタオルを玄関先に付けるなど、逃げ遅れを防ぐための工夫が目を引いた。

続く第2部では、NPO 法人とれじゃーBOX 理事の大槻由美さんによる「暮らしの中に防災を！ 今日からできる非常時への備え」と題する講演があった。

すぐにもできる備えとして、『家具の固定』『重いものは低いところに移す』『避難時に持ち出したいもの（日常で必要なもの）は、いつもまとめて置いておく』『玄関まで無事にたどりつけるように、家の中を片付け、停電時に自動点灯するライトを設置しておく』『モバイルバッテリーなど電池類も備えておく』など、具体的なアドバイスがたくさん聴けてとても有意義な一夜だった。

大槻さん 自画自賛のショット→



今後の活動予定

7月18日（木）防災運動会の打合せ（北花沢町）

9月13日（金）防災ゲーム体験（平柳町）

※ 出前講座の申し込み受け付けます！

勝手にQ&Aコーナー

Q：今回は防災についての中身が濃いですね。余計な話が少なくて良いです。

A：フッフ、油断してると余計な話が出てくるぞ。

Q：『円型脱毛』の話で思い出したのですが、子どものころアニメ『いなっぺ大将』の副主題歌『だいちゃん数え歌』の替え歌で、ハゲに関するものがあったと思うのですが、どんな歌詞でしたっけ？

A：「♪ひとつひとより力持ち～」ってやつですね。地方によって微妙に異なるようですが、食いしん防の覚えてる歌詞はこうです。

「♪ひとつひとよりハゲがある～ ふたつ双子のハゲがある～ みつつみにくいハゲがある～ よつつ横にもハゲがある～ いつついつでもハゲがある～ むつつ向こうにハゲがある～ ななつ斜めにハゲがある～ やつつやっぱりハゲがある～ ここのつここにもハゲがある～ とおでとうとうつるっばげ～」

こんな歌で脱毛部分がある子をからかっていた報いが、今になって来たんですなあ。皆さんも気をつけて！

楽しい質問、お待ちしております！



（文責：こじまっちょ）